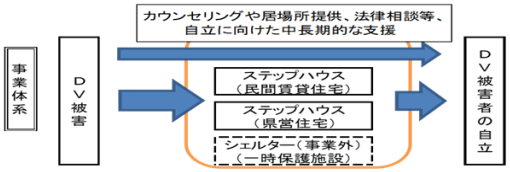
レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式３

ﾚﾋﾞｭｰ項目（事業名）	オンライン技術を活用したＤＶ被害者相談の実施（ＤＶ被害者等ｾｰﾌﾃｨﾈｯﾄ強化支援ﾊﾟｲﾛｯﾄ事業）			部（局）	福祉部
				所管課	児童家庭課
				担当班	家庭支援班
				連絡先	078-362-3639
開始年度	令和２年度	終了年度	令和10年度	関連計画等	兵庫県ＤＶ防止・被害者保護計画
事業区分	☑ 国補助事業　□ 県単独事業				
実施方法	□ 直執行　☑ 委託　□ 補助　□ その他（　）			実施主体等	NPO法人女性と子ども支援センターウィメンズネット・こうべ

事業目的	ＤＶ被害者の相談から避難（一時保護）、自立に向け、同伴する子どもの支援も含めた切れ目のない、きめ細かい支援が一層必要な状況であり、本事業を行うことでＤＶ被害者の自立促進を推進する。
事業概要	①DV被害者自立支援事業 　シェルター（一時保護施設）退所後のDV被害者等の孤立防止や自立へのサポートのため、ソーシャルワーカー等が常駐する場を提供し、弁護士による法律相談や産婦人科医・助産師による体の相談、精神科医等によるメンタルヘルス相談など専門家相談を実施 ②ステップハウス運営事業 　すぐに自立した生活が難しいＤＶ被害者等に対して、借り上げた民間賃貸住宅・県営住宅をステップハウスとして提供し、状況に応じた相談に対応できるようスタッフを配置する。
業務フロー	委託契約（県・事業者） ↓ 事業実施（事業者） ↓ 事業完了報告（事業者） 
R5レビュー時の外部委員会意見	・オンラインで匿名相談出来る仕組みは重要である。ただ、弁護士相談などすべてをいちどにオンライン化するのは難しいので、まずは最初の相談をオンライン化すべき。 ・オンライン化後の電話相談件数等の変化を分析し、その件数が減ったことがオンライン化の成果となる。 ・アウトプット指標について、カウンセリング相談数、弁護士相談実施数など細かく設定すべきである。DV被害者等がネット検索でこのレビューシートを見れば、県がこんな支援をしていると気づく可能性がある。 ・アウトカム指標については、設定が難しいし、外部に公表すべきでないかもしれない。設定にあたっては慎重に検討されたい。
改善結果 （改善状況取組過程）	・従来から必要に応じて、オンラインやLINEによる相談対応も行っていたが、委員意見を踏まえ、相談者に対しオンライン等複数の手段を選択可能であることを従来以上に周知した。その結果、相談手段の選択肢が明確化され、相談者のニーズに応じた対応が可能となった。一方で、込み入った相談内容から対面での相談を希望する傾向があるため、相談者の希望に基づき、各相談手段を適切に組み合わせて対応している。 ・アウトプット指標については、項目を個別に設定し、相談内容ごとの実態把握が可能となるよう見直しを行った。

事業に要するコスト

区分		５年度決算額	６年度決算額	７年度当初予算額	８年度当初予算額
事業費①		10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
経費内訳	報酬・賃金				
	委託料	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
	補助金・交付金				
	貸付金				
	その他				
（財源内訳）	（国庫）	(7,500千円)	(7,500千円)	(7,500千円)	(7,500千円)
	（特定）				
	（起債）				
	（一般財源）	(2,500千円)	(2,500千円)	(2,500千円)	(2,500千円)
予算額② ※精算補正前の予算を記載		10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
執行率（(①/②)×100）		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
人件費③（a+b+c）		従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人	従事人員 0.1人
		862 千円	862 千円	862 千円	862 千円
	職員給与費　a	750 千円	750 千円	750 千円	750 千円
	賞与引当金繰入額　b	57 千円	57 千円	57 千円	57 千円
	退職手当引当金繰入額　c	55 千円	55 千円	55 千円	55 千円
総コスト（①+③）		10,862 千円	10,862 千円	10,862 千円	10,862 千円

レビューシート（令和５年度レビュー対象事業：フォローアップ型）　様式３

評価指標	指標名	区分	５年度実績	６年度実績	７年度実績	８年度目標	最終目標【年度】
	成果指標（アウトカム指標①）	目標					【年度】
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	成果指標（アウトカム指標②）	目標					【年度】
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	成果指標（アウトカム指標③）	目標					【年度】
		実績（見込）					
		（単位当たりコスト）	--	--	--	--	
		達成率（見込）	--	--	--	--	
	活動指標（アウトプット指標①） 女性相談回数（面談）	目標	60	60	60	60	【年度】
		実績（見込）	86	60	74	(60)	
		（単位当たりコスト）	(126 千円)	(181 千円)	(147 千円)	(181 千円)	
		達成率（見込）	143.3%	100.0%	(123.3%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標②） 専門家（弁護士等）相談回数（面談）	目標	30	30	30	30	【年度】
		実績（見込）	33	32	49	(30)	
		（単位当たりコスト）	(329 千円)	(339 千円)	(222 千円)	(362 千円)	
		達成率（見込）	110.0%	106.7%	(163.3%)	(100.0%)	
	活動指標（アウトプット指標③） オンラインでの相談回数（女性相談・専門家相談）	目標	10	15	15	15	【年度】
		実績（見込）	9	10	6	(15)	
		（単位当たりコスト）	(1,207 千円)	(1,086 千円)	(1,810 千円)	(724 千円)	
		達成率（見込）	90.0%	66.7%	(40.0%)	(100.0%)	
	終期設定	○有（令和10年度（現計画終期）） ・ 無					
	改善基準	目標値の80%を下回った場合（突発的又は偶発的な要因による変動の範囲を超える目標未達と判断）					

自己評価	評価の視点	評価	目標に対する達成状況（総合的評価）
	○有効性（評価指標に対する実績） ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか　など	・本事業はDV被害者支援の性質上、定量的な成果指標の設定が困難であるものの、相談件数等の活動実績から一定の県民ニーズの充足が確認されており、想定した民間活力による継続的な支援機能は概ね発揮されていると考えられる。	B：ほぼ満足のいく実施状況 ・DV被害者からの相談件数は各年度、同水準で推移しており、孤立しがちなDV被害者の支援の手段として有効活用されている。 ・遠隔地に在住する方など、より多くのDV被害者の自立に向けた支援を行っていくため、今後も対面・オンラインを含む多様な相談方法を維持するとともに、事業内容や幅広い相談方法等の広報の充実に引き続き取り組んでいく。
	○効率性（最小のコストで最大の効果） ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか　など	・事業の性質上、受益者負担は望めず、国庫補助を有効活用している。 ・民間事業者への委託事業として実施することで、効率的な運営に努めている。	

課題・今後の方向性

☑ 改善　□ 他事業と統合　□ その他

説明：・本事業においては、女性支援団体数が限られる中で、特に地方部における支援へのアクセス確保が引き続き課題となっている。このため、利用者のニーズに応じたオンライン相談の活用を一層推進し、居住地に左右されない相談機会の確保を図ることで、相談支援への接続及び継続的な支援につなげ、相談者の困難な状況の改善と自立の促進を図る。

外部委員会意見

・R5レビューで指摘されたオンライン相談の周知や指標の細分化については改善が図られており、対面・オンライン双方を活用した相談体制の整備は評価できる。また、専門家相談は目標を上回って推移しており、DV被害者への継続的な支援機能は概ね確保されている。
・本事業は、オンライン相談件数の多寡ではなく、相談者が安全に必要な支援へつながり、自立や再被害防止に至るまで切れ目なく支援できているかという観点から評価すべきである。現状の相談件数は事業効果を判断する上で限定的な指標であり、オンライン相談から面談、専門相談、一時保護等につながった割合や支援継続率など、支援プロセス全体を把握できる指標の設定が望まれる。
・また、オンライン利用が伸びない要因についても、利用者ニーズや相談内容の特性等による課題と、周知不足や利用しにくさといった運用上の課題を区別して分析することが重要である。さらに、地域包括支援センターや保健所、警察、民間支援団体等との連携を強化し、県が支援をつなぐハブ機能を発揮することで、支援の実効性向上を期待する。